

(様式第4号)

第8回上田左岸地域協議会 会議概要

1 審議会名	上田左岸地域協議会
2 日時	令和4年11月17日 午前10時00分から11時45分まで
3 会場	城南公民館 大ホール
4 出席者	赤堀委員、浅川委員、遠藤委員、小熊委員、倉島委員、小山委員、田村委員、富田委員、西入委員、樋口委員、松田委員、宮坂委員、宮下委員、安江委員、山岸委員
5 市側出席者	【事務局】滝沢城南地域振興政策幹、間宮塩田地域自治センター長、藤沢川西地域自治センター長、片山地域内分権推進担当係長、村山地域内分権推進担当主査、芳池地域内分権推進担当主事
6 公開・非公開	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7 傍聴者	0人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	令和4年11月30日

協議事項等

次第

1 開会

2 あいさつ

3 協議事項

(1) 分科会について

会長から資料を基に説明

(2) 各分科会協議

上田左岸地域の課題について

分科会ごとに分かれて意見交換

【第1分科会：自治・まちづくり】分科会長：小山委員

- ・副分科会長について、小熊委員に決定
- ・分科会の調査研究分野である「自治・まちづくり」について、どのようなテーマを設定するか協議
- ・調査研究に関するアンケートにより委員から提案のあったテーマについて意見交換、情報交換
- ・次回の協議会において具体的なテーマの設定について検討

(アンケートにより委員から提案のあったテーマ)

- ・空き家、空き地対策について
- ・自治会役員、消防団の成り手不足について
- ・住民自治組織について
- ・自治会のあり方について
- ・上田市のまちづくりに関する補助金等について

【第2分科会：子育て・福祉・教育】分科会長：浅川委員

- ・自己紹介
- ・副分科会長について、委員の推薦多数により、西入委員に決定
- ・分科会のテーマについて協議

以下、委員からの主な意見

- ・耕作者等が農作物等を子ども食堂へ提供する方法はないか。

- ・少子化世代における子育ての支援をどう考えるか。
- ・皆が幸せな老後を迎えられる上田市を目指したい。
- ・自ら孤立をしてしまう高齢者にどう対応していくか。
- ・バス停が遠く、免許を返納した後、どう生活していくか不安を感じている。
- ・長野大学で研究した課題を地域で行うなど、双方の利益になるような方策を検討したい。
- ・今後のテーマについて、以下①～③を大きなテーマとして、調査研究の課題を考えていく。

①子ども・子育てについて（子ども食堂、地域による子育て支援）

②高齢者問題（生きがい、施設、移動手段）

③長野大学との連携・活用

【第3分科会：産業・地域振興】分科会長：松田委員

- ・自己紹介
- ・副分科会長について、倉島委員に決定
- ・調査研究テーマについて検討

以下、委員からの主な意見

- ・上田市には全国規模のスポーツ大会を誘致する屋内施設がない。左岸地域に誘致し地域振興の拠点とする。
- ・物価高で苦しんでいる飲食店、小売店の救済として、規格外の商品を低価格で提供する仕組みを研究したい。
- ・空き地で地元の特産物を生産し、空き家で販売するなど、産業振興と観光資源として有効活用する。
- ・室賀地域の路線バスは、本数が少なく、土日祝日は運行していない。高齢者などの多い地域にとって利便性のある時刻設定と停車場所を官民一体で取り組むことが必要である。
- ・上田市の農産物には目玉となるものが少ない。荒廃農地を利用する場合、何が適しているか調査したい。
- ・公共施設などは右岸地域に多い。左岸地域に増やし上田電鉄別所線を右岸地域の住民が多く利用できる戦略を考えたい。
- ・使途が限られている補助金に頼らず、インバウンドも含め稼ぐ観光を目指し、その資金で地域の環境を整備し、次世代へ繋いでいくことが必要である。
- ・日本遺産の認定が活かされていない。
- ・上田電鉄別所線の停車駅にも必ず見どころはあるはず。田園風景、健康増進、特産の大豆をコラボし上田電鉄別所線を最大限活用したい。
- ・ただ開催しただけの分科会にならないようにしたい。

#### 4 その他

次回の開催予定

日時 12月15日（木） 午後1時30分から

場所 塩田公民館 大ホール

#### 5 開会